

令和6年度

学習シラバス



新座市立第三中学校

3 学年

各教科の1年間の学習内容や目標、評価の観点などが記載されています。

各教科は、このシラバスに基づいて学習を進めていきます。



創立40周年記念マスコットキャラクター

Sunちゃん

令和6年度

通知表の評価・評定

新学習指導要領から通知表の評価項目が変更になり、3観点で評定を決めることとなりました。学校の通知表の評定をどのような仕組みで決めているかを説明します。通知表をご覧になる際の参考にしていただければ幸いです。

通知表の観点別評価について

各教科には、評価をするための3つの観点が決められています。観点ごとに、生徒の学習状況（主体的に学習に取り組む態度、忘れ物など）、テストの結果、提出物の内容、作品、授業中の発言内容、自己評価シートの内容などを参考に、ABCの三段階で評価します。

観点別評価項目

各教科の「観点別評価項目」及び「評価の方法・参考とする資料」は以下のようになっています。

	観点別評価項目	評価方法・参考とする資料
国語	知識・技能	定期テスト、小テスト、書写の技能、暗唱、ワークの取り組みなど
	思考・判断・表現	授業中の言語活動（書く、読む、話す、聞く）の活動内容、定期テスト、まとめレポートなど
	主体的に学習に取り組む態度	取り組みの様子、発表や課題の内容、レポートによる理解度の深まりなど
社会	知識・技能	定期テスト、単元テスト、レポート、授業への取り組みなど
	思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、レポート、授業への取り組みなど
	主体的に学習に取り組む態度	定期テスト、単元テスト、レポート、授業への取り組みなど
数学	知識・技能	定期テスト、単元別テスト、提出物の内容など
	思考・判断・表現	定期テスト、単元別テスト、提出物の内容など
	主体的に学習に取り組む態度	取り組みの様子、定期テスト、単元別テスト、提出物の内容など
理科	知識・技能	技能テスト、ノートやレポートの内容、定期テストなど
	思考・判断・表現	口頭テスト、ノートやレポートの内容、定期テストなど
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取り組みの様子、ノートやレポートの内容、定期テストなど
音楽	知識・技能	ワークシートの内容、鑑賞レポートの内容、定期テスト、実技テストなど
	思考・判断・表現	ワークシートの内容、鑑賞レポートの内容、定期テストなど
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取り組みの様子、話し合い活動の様子、ワークシートの内容など
美術	知識・技能	取り組みの様子、作品（作成過程、完成）の様子、発言の内容など
	思考・判断・表現	取り組みの様子、鑑賞の内容、記述の内容、スケッチの内容など
	主体的に学習に取り組む態度	発言の内容、取り組みの様子、記録、スケッチや振り返りシートの内容など
保健 体育	知識・技能	運動技能、単元ごとの技能の到達度や記録値、動きを獲得している姿 定期テストの内容など
	思考・判断・表現	学習カード内容、活動内容（課題解決の取り組み） 設定された活動を自分なりに工夫し行動や言葉として表出される姿勢など
	主体的に学習に取り組む態度	授業の用具の準備・片付けをしっかりと行っているか。 授業への課題解決に向けて進んで取り組もうとする姿勢
技術 家庭	知識・技能	テスト（ペーパーテスト、実技テスト）、製作品（製作過程、完成）の様子、発言やレポートの内容など
	思考・判断・表現	学習ノートや発言、レポートの内容、作業計画表、記録カード、テスト（ペーパーテスト、実技テスト）など
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取り組みの様子、学習ノートや振り返りカード、作業記録カード、レポートの内容など
外国語	知識・技能	パフォーマンステスト、ワークシートの内容、文法・発音の正確さ、定期テストなど
	思考・判断・表現	パフォーマンステスト、ワークシートの内容、発言内容の適切さ、定期テストなど
	主体的に学習に取り組む態度	取り組みの様子、パフォーマンステスト、振り返りカード・ワークシート・提出物の内容、表現の工夫など

観点別評価ABCの決め方

次の観点別評価を三段階で行うときのA、B、Cの評価判定基準について説明します。単元ごとに観点別評価を行い、その評価の平均値により各学期の観点別評価を算出しています。教科ごとに多少異なりますが、前ページで述べた「評価の方法・参考とする資料」を参考に点数化して、ABCを決定しています。おおよその目安は以下のとおりです。

評価の点数化	各単元の評価を基にして 出す平均値の範囲	評価
A → 3	平均値 > 2.5	A
B → 2	2.5 ≥ 平均値 ≥ 1.5	B
C → 1	1.5 > 平均値	C

A : 十分満足できる状況

B : おおむね満足できる状況

C : 努力を要する状況

通知表 教科の評定について

以下では、評価の組み合わせによる評定の基準を示します。評定は、観点別評価の結果を総括したもので、3個のABCの組合せによって決められます。

観点別評価から評定の決め方

観点別評価の組み合わせから決定する評定は、以下の通りになります。学校で定めた一律の組み合わせになります。あくまで評価の組み合わせで評定が決まるので、評価の順番によって評定が変わることはありません。

【学期末・学年末の評価・評定一覧】

評価の組み合わせ	評定
AAA	5
AAB	4
ABB BBB BBC	3
BCC	2
CCC	1

※新学習指導要領、国立教育政策研究所の資料より3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）が相互に関わっているため、**AとCは混在しません。**

第3学年 教科名（国語）の学習について（シラバス）

◎教科の目標

- ・基礎的な学力の定着を図る。
- ・言語についての知識を身につけさせ、理解できるようにさせる。

◎生徒にがんばってほしいこと

- ・丁寧な日本語を話すこと。
- ・脈絡の整った文章を書くこと。
- ・漢字小テストの取り組み。
- ・辞書を活用すること

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<p>1. 深まる学びへ 世界はうつくしいと</p> <p>握手</p> <p>練習 評価しながら聞く</p> <p>学びて時にこれを習ふ</p> <p>情報の信頼性</p> <p>文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する</p> <p>漢字1 熟語の読み方</p> <p>2. 視野を広げて 作られた「物語」を超えて</p> <p>説得力のある構成を考えよう</p> <p>文法の扉 すいかは幾つ必要？</p> <p>3. 言葉とともに 俳句の可能性</p> <p>俳句を味わう</p> <p>言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現をめざして</p> <p>言葉1 和語・漢語・外来語</p> <p>硬筆</p>	<p>読書生活を豊かに 羊と鋼の森</p> <p>本の世界を広げよう</p> <p>4. 状況の中で 挨拶</p> <p>故郷</p> <p>聞き上手になろう</p> <p>推敲・論理の展開を整える</p> <p>言葉2 慣用句・ことわざ・ 故事成語</p> <p>漢字2 漢字の造語力</p> <p>5. 自らの考えを 人工知能との未来</p> <p>人間と人工知能と創造性</p> <p>多角的に分析して書こう</p> <p>合意形成に向けて話し合おう</p> <p>初恋</p> <p>6. いにしへの心を受け継ぐ 古今和歌集 仮名序</p> <p>君待つと 万葉・古今・新古今</p> <p>夏草 「おくのほそ道」から</p> <p>古典名句・名言集</p> <p>書き初め</p>	<p>7. 価値を生み出す 誰かの代わりに</p> <p>情報を読み取って文章を書こう</p> <p>漢字3 漢字のまとめ</p> <p>文法への扉2 「ない」の違いがわからない？</p> <p>読書に親しむ エルサルバドルの少女ヘスース</p> <p>読書案内</p> <p>8. 未来へ向かって 温かいスープ</p> <p>わたしを束ねないで</p> <p>三年間の歩みを振り返ろう</p> <p>学習を振り返ろう</p> <p>漢字に親しもう</p> <p>文法 1. 2年の復習</p>

観点

1. 主体的に学習に取り組む態度 ……
取り組みの様子、発表、課題の内容、「まとめレポート」による理解度の深まりなど。
 2. 思考・判断・表現 ……
(話す・聞く) 話し合い、スピーチ、聞き取りテスト、討論会、ビブリオバトルなど。
(書く) 意見文、手紙、物語文など様々な文章を書く書く能力。ノートの取り方やまとめ方。
定期試験の記述問題など。
(読む) 作品の理解(読み取り)、定期試験の文章問題など。
 3. 知識・技能 ……
漢字・語句の知識理解、文法の理解、書写の技能、漢字テスト、暗唱、定期試験の記述問題など。
- 観点別評価 【 A・B・C 】の3段階
- A おおむね8割以上の到達度 B おおむね4割以上の到達度 C おおむね4割未満の到達度

◎社会科の目標

・広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会に形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

※第3学年は、歴史的分野・公民的分野となり、4時間／週となります

◎学習内容

	単元名	学習内容とねらい
4月	○日清・日露戦争と近代産業	・欧米列強の侵略と条約改正 ・日清戦争 ・日露戦争 ・韓国と中国 ・近代革命の進展 ・近代文化の形成
5月	○第一次世界大戦とアジア・日本	・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際協調の高まり ・アジアの民族運動 ・大正デモクラシー ・広がる社会運動 ・都市化と大衆文化
6月	○世界恐慌と日本の中国侵略 ○第二次世界大戦とアジア ○日本の民主化国際社会への参加 ○国際社会と日本	・世界恐慌とブロック経済 ・欧米の情勢と日本 中国経済 ・日中全面戦争 ・第二次世界大戦 ・戦時下の生活 ・戦争の終結 ・占領と日本の民主化 ・二つの世界とアジア ・国際社会に復帰する日本 ・日本経済の発展 ・国際関係の変化 ・21世紀の世界と日本
	(公民)	
7月	○私たちの生活と現代社会	・スーパーマーケットから現代社会を見てみよう
	○現代社会と私たちの生活	・グローバル化 文化 効率と公正
8月	○人間の尊重と日本国憲法	・人権を考える
9月	○人権と日本国憲法	・人権の歴史と日本国憲法の制定
	○人権と共生社会	・日本国憲法の基本原理
	自由権	・日本の平和主義
	社会権	・基本的人権と個人の尊重 ・平等権と共生社会
10月	○これからの人権保障	・人権保障を確かなものに (自由に生きる 豊かに生きる 人権保障について 新しい人権 国際社会と人権)
	○現代の民主政治と社会	・人々の意見を政治に生かす
	現代の民主政治	・民主主義と政治 ・選挙の仕組みと課題 ・政治参加と世論 ・政党と政治 議会制民主主義と国会 国会の働き

11月	○国の政治のしくみ ○地方の政治と自治	・行政と内閣 ・法を守る裁判所 ・三権の抑制と均衡	・現代の行政 ・裁判の種類と人権
12月	○私たちの暮らしと経済 わたしたちの生活と経済	・消費と貯蓄 ・消費者の権利と保護	
1月	生産と労働 価格の働きと金融 国民生活と福祉	・流通のしくみ ・市場経済のしくみ ・企業の役割と意義 ・労働者の権利 ・市場経済のしくみ	・生産のしくみ ・市場と価格 ・金融のはたらき ・働く人たちの生活向上 ・少子高齢化と財政
2月	○地球社会と私たち ○国際社会と世界平和 ○国際問題と私たち 学習のまとめ	地球のさまざまな姿 国際社会における国家 新しい戦争 世界平和のために 地球環境問題 資源エネルギー問題 貧困問題の現状 世界の中の日本	

◎評価について

1 「主体的に学習に取り組む態度」の評価	(1) 授業規律 ①チャイム着席 ②授業道具の用意 ③授業態度 (2) 授業中の発言、発表の内容 (3) レポート・ファイル(ノート)・ワーク等の内容…学期1回程度 (4) 定期テスト・単元テストの結果 など
2 「社会的な思考・判断・表現」の評価	(1) 定期テスト・単元テストの結果 (2) レポート・ファイル(ノート)・ワーク等の内容…学期1回程度 (3) 授業中の発言・発表内容など
3 「社会的事象についての知識・技能」の評価	(1) レポート・ファイル(ノート)・ワーク等の内容…学期1回程度 (2) 定期テスト・単元テストの結果 (3) 授業中の発言・発表内容など
4 評定について	上記の1～3の観点別評価を総合して評定を出す

◎生徒にがんばってほしいこと

歴史的分野では、「日清・日露戦争」の時代(1910年代)から「国際社会と日本」の時代(2000年代)までの学習をします。公民的分野では、「私たちの生活と現代社会」から「国際問題と私たち」までの学習をします。

学習の流れとしては、1学期は、「日清・日露戦争」の時代(1910年代)から始めます。その後、公民的分野の「私たちの生活と現代社会」を行います。3学期月上旬までに「国際問題と私たち」を行い、残りの期間は受験に向けての演習を行っていきます。

社会科は、暗記教科などと言われることがありますが、本来は自分の考え方を鍛える教科です。昨年に引き続き、教科書・資料集を活用する力をつけてほしいと考えています。そして、歴史の中の事柄について「なぜそのようななったのか」「資料からどのような特徴がみられるか」や、公民的分野では、人権や政治・経済など日本の仕組みについて「どのように日本の仕組みが造られているのか」など授業で学んだことについて、自分の考えをまとめながら勉強してほしいと思います。

第3学年 数学科の学習（シラバス）

◎数学科の目標 （生徒像）

- ・積極的に授業に参加できる生徒
- ・基礎基本の学力をしっかりと身につける生徒
- ・課題を多様な考えで解決しようとする生徒
- ・他人の考えをしっかりと聞き、互いに協力できる生徒

◎生徒に頑張ってもらいたいこと

数学の学習の楽しさや数学のすばらしさを実感できるような勉強をしてください。数学の学習が楽しいものであるとか有益なものであると感じるためには、それなりの努力が必要です。それは、テレビや漫画を見て楽しいと感じる受け身の姿勢とは違い、自分で問題を解き、自分で考え、理解し、できた実感するという前向きな姿勢が要求されます。そして、そのような学習は結果として、確かな数学の学力を身につけることにつながることはもちろんです。

そのような学習を授業の中で、友達と共に進められるようがんばってほしいです。

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
1 章 多項式 <ul style="list-style-type: none"> ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用 2 章 平方根 <ul style="list-style-type: none"> ・平方根 ・根号を含む式の計算 ・平方根の利用 3 章 2次方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解き方 	3 章 2次方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解き方 ・2次方程式の利用 4 章 関数 <ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y = ax^2$ ・いろいろな関数の利用 5 章 相似な図形 <ul style="list-style-type: none"> ・相似な図形 ・平行線と比 6 章 円 <ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理 7 章 三平方の定理 <ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用 	8 章 標本調査 <ul style="list-style-type: none"> ・標本調査 ○入試問題演習

◎評価・評定

（1）観点別評価について		（2）評価について
①知識・技能	◇各領域で扱う基本的な概念や定理・法則また、用語の意味を理解している ◇いろいろな計算問題や図形の基本的な問題が解ける	定期試験（中間、期末、小テスト）等、提出物（授業ノート、問題集、宿題、振り返りシートなど）等を各観点について総合的に判断する。
②思考・判断・表現	◇多様な考えで問題を解こうとする ◇既習事項を活用して関連付け問題を解くことができる	5：十分満足できるもののうち、特に程度が高い 4：十分満足できる
③主体的に学習に取り組む態度	◇他の観点を身につけるため粘り強い取り組みを行おうとする ◇上記のことを行う中で、自らの学習を調整しようとする	3：おおむね満足できる 2：努力を要する 1：一層努力を要する

第3学年 理科シラバス

○ 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

観点	育成を目指す資質・能力
知識及び技能	・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、 ・科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能
思考力、判断力、表現力等	・科学的に探究する力
学びに向かう力、人間性等	・科学的に探究しようとする態度

○ 学習内容

理科A	理科B
単元4 化学変化とイオン	単元2 生命のつながり
1章 水溶液とイオン	1章 生物の成長とふえ方
2章 化学変化と電池	2章 遺伝の規則性と遺伝子
3章 酸・アルカリとイオン	3章 生物の種類の多様性と進化
単元5 地球と宇宙	単元1 運動とエネルギー
1章 天体の動き	1章 力の合成と分解
2章 月と惑星の運動	2章 水中の物体に加わる力
3章 宇宙の中の地球	3章 物体の運動
	4章 仕事とエネルギー
単元3 自然界のつながり	単元6 地球の明るい未来のために
1章 生物どうしのつながり	2章 科学技術と人間
2章 自然界を循環する物質	終章 これからの私たちの暮らし
単元6 地球の明るい未来のために	
1章 自然環境と人間	

※本校では、「理科A」・「理科B」の2つに分け、2分野並行型で授業を進めます。

令和5年度 第3学年 音楽科の学習（シラバス）

◎音楽科の目標 (生徒像)

- ・授業を通して音楽の楽しさを体感し、音楽への興味・関心を持つ
- ・音楽の楽しさや美しさを感じ、表現する技術を身につけ、自分の音楽を表現しよう
- ・様々な音楽に親しもう

◎生徒に頑張ってほしいこと

- ・授業を真剣に受ける姿勢
- ・歌唱や合唱での発声法、器楽演奏の基礎的な技術を身につける
- ・積極的に工夫しながら作っていく創作活動への姿勢
- ・自ら楽しみ味わう鑑賞の態度
- ・表現や鑑賞で必要な音楽の基礎的な知識・理解

◎学習内容

1 学 期	2 学 期	3 学 期
<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・級友とともに歌う喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度を育てる 「校歌」 <p>○詩と旋律</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景を思い浮かべ、表情豊かに表現する 歌唱「花」「早春賦」「花の街」 <p>○創作活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムや旋律を創作し表現力を高める。 「Let's Create!」 「My Melody」 「打楽器のための小品」 <p>○オーケストラの響き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラの楽器の響きや情景がどのように音楽で表現されているのか感じ取る。 「ブルタバ（モルダウ）」 	<p>○合唱の喜び1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内合唱祭への取り組みを通し、表現力を高め、合唱を愛好する心情を育てる 「クラス曲」 <p>○日本の伝統音楽1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術としての多様な表現を味わい親しむ。 「歌舞伎」 <p>○日本の伝統音楽2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な音楽の良さを味わう。 「能」「文楽」「雅楽」 	<p>○合唱の喜び2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式の歌への取り組みを通し、合唱の喜びを味わう 「卒業式歌」「君が代」 <p>○名曲を味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の背景を理解して名曲を鑑賞する。 「レクイエム」「革命」 「アランフェス協奏曲」 「ノヴェンバーステップス」 <p>○世界の様々な音楽に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化、風土、歴史等を知り、それぞれの特徴を味わう。 「世界の諸民族の音楽」

◎評価・評定について

・評定

実技テスト、筆記テスト、鑑賞レポート、提出物、授業観察等をもとに、総合的に評価します

・観点別評価

〈知識・技能〉	授業観察、実技テスト、筆記テスト、ワークシート、鑑賞レポート等
〈思考・判断・表現〉	授業観察、筆記テスト、ワークシート、鑑賞レポート等
〈主体的に学習に取り組む態度〉	授業観察、ワークシート、鑑賞レポート、自己評価カード

新座座市立第三中学校 令和6年度 第3学年 美術科 シラバス

1. 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 年間計画

学期	題 材 名	学 習 内 容
1	祈りの造形、仏像の美	仏像に興味をもち、主体的に鑑賞し、仏像の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。
	未来へ伸びる樹	夢や想像の世界を表現することに関心をもち、主体的に取り組み、想像を広げ、思い描いた世界を表現する作品の構想を練る。
2	思いを時に刻む	デザインに関心をもち、主体的に表現し、機能的で美しいデザインを考える。
	形と色彩が織りなすイメージ	抽象的な表現に関心をもち、主体的に取り組み、心の中を深く見つけ、感じ取ったり考えたりしたことから表現の構想を練る。
	伝統と創造	伝統から生まれる創造性に関心をもち、主体的に鑑賞し、伝統を生かした造形のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げる。
3	型から生まれる形	型を使った工芸作品に関心をもち、主体的に取り組み、同じ形ができることから発想し、生活に生かす作品を構想する。
	ゲルニカで伝えたかったこと	平和や命の尊さについて関心をもち、主体的に鑑賞し、ピカソの表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を深める。

3. 評価の観点 A：「十分満足できる」 B：「おおむね満足できる」 C：「努力をようする」

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	・対象や自称を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	行動観察・対話・表現・作品
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	行動観察・対話・表現・記述・スケッチ
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現活動に取り組もうとしている。	行動観察・対話・表現・記録・スケッチ・自己評価表

第3学年 教科名（保健体育）の学習について（シラバス）

■教科の目標

- ・運動に親しみ、主体的に学習に取り組む生徒
- ・健康や安全に留意して、健康の増進と体力向上に努めることのできる生徒

◎生徒にがんばってほしいこと

- ・体力向上に努める
- ・集団としての学習規律を守る
- ・課題を発見し、主体的に学習に取り組める
- ・種目選択を行い、授業に進んで取り組める
- ・係などの分担された役割を果たせる

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 ○体育理論 ○陸上競技 ○球技（ネット型） ○器械運動 ○水泳 ○新体力テスト ○保健 	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 ○球技（ネット型） ○球技（ベースボール型） ○陸上競技（長距離走） ○ダンス ○体育祭の取り組み ○保健 	<ul style="list-style-type: none"> ○球技（ゴール型） ○体育理論 ○保健

◎評価について

評価の観点は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、の3観点とする。

知識・技能	運動技能、単元ごとの技能の到達度や記録値、動きを獲得している姿 定期テスト、単元別テスト、学習カードの内容など
思考・判断・表現	学習カード内容、活動内容（課題解決の取り組み）、設定された活動を 自分なりに工夫し行動や言葉として表出される姿勢など
主体的に学習に取り組む態度	授業の用具の準備・片付けをしっかりと行っているか。 授業への課題解決に向けて進んで取り組もうとする姿勢

技術・家庭科（技術分野）シラバス

技術・家庭科で目指すこと

☆ 技術・家庭科の目標 ☆

見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けることをねらいとしています。

☆ 技術分野の目標 ☆

技術の見方・考え方を働かせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を身に付けることをねらいとしています。

☆ 技術・家庭科の授業でどんな学力をつけるのか ☆

- 生活と技術についての基礎的な知識や技能を身に付ける。
- 生活や社会の中から問題を見つけ、解決策を考え、その実践の評価・改善をするなど、課題を解決する力を身に付ける。
- 将来にわたって生活を工夫したり、創造したりしようとする気持ちを身に付ける。

3年間で学習する内容【1、2年生】 ()内の数字は授業時数

第一学年	生活や社会における技術の役割 (3)	B 生物育成の技術 (13)	A 材料と加工の技術 (19)
第二学年	D 情報の技術 (デジタル化による情報処理のしくみ) (16)	C エネルギー変換に関する技術 (照明機器の製作) (19)	
第三学年	D 情報の技術 (プログラムによる計測・制御、双方向性のあるコンテンツのプログラミング) (17.5)		

授業の約束事

<p>☆ 持ち物 ☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書（技術・家庭 技術分野） ・筆記用具、技術授業ファイル ・その他、授業で指示されたもの <p>※ 教科書は3年間使用します。ノート兼用のプリント、ファイルを配布します。</p>	<p>☆ その他 ☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術室での授業はジャージ（上下）で受ける。パソコン室での授業は制服。(学校のルールに準じる) ・忘れ物をしない。 ・話はしっかり聞く
---	--

評価の観点・方法

技術・家庭科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をそれぞれABCの三段階で評価をします。

① 知識・技能

テスト（ペーパーテスト、実技テスト）、製作品（製作過程、完成）の様子、発言やレポートの内容などを材料に評価します。

基本的な知識が理解され、それを使った基礎的な技術が身についているかを評価します。

② 思考・判断・表現

学習ノートや発言、レポート（ワークシート、技家クラスルーム等）の内容、作業計画表や記録カードの内容、テスト（ペーパーテスト、実技テスト）などを材料に評価します。

技術の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、解決できる力について評価します。

③ 主体的に学習に取り組む態度

授業の取り組みの様子、学習ノートや振り返りカード、作業記録カードの内容、レポート（ワークシート、技家クラスルーム等）の内容などを材料に多面的に評価します。

自分なりの考え方で解決策を考えたり、その実践を振り返りより、良いものになるよう改善・修正しようとしたりする態度について評価します。

以上の3つの観点を総合し、5段階で評定します。

☆ 各学年での授業・テスト ☆

◎ 1、2年生

前後期制で技術分野、家庭分野を週2時間ずつ行います。定期テストは2学期中間期（10月頃）と学年末にそれぞれの分野の内容の100点満点のテストを行います。通知表の評定は2学期末に前期の分野、3学期末に後期の分野を5段階で評定します。観点についても同様に3段階で評価します。なお、学年評定については両分野を総合した評価・評定を出します。

◎ 3年生

技術分野と家庭分野で週に1時間なので、隔週で分野を入れ替えて交互に学習します。その他は昨年度と同様に、定期テストは各学期末、配点は技術分野50点、家庭分野50点です。通知表の評定は技術分野と家庭分野を合わせて5段階、観点についても同様に3段階で評価します。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス

技術・家庭科で目指すこと

☆ 技術・家庭科の目標 ☆

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につけることをねらいとしています。

☆ 家庭分野の目標 ☆

- 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を身につける。
- 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を見通して課題を解決する力を身につける。
- 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。

☆ 技術・家庭科の授業でどんな学力をつけるのか ☆

- 生活と技術についての基礎的な知識や技能を身につける。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身につける。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。

3年間で学習する内容

第一学年	B 衣食住の生活 (4) 衣服の洗濯と手入れ (5) 生活を豊かにするための布を用いた制作 (6) 住居の機能と安全な住まい方		
第二学年	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活	B 衣食住の生活 (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事 (3) 日常食の調理と地域の食文化	C 消費生活と環境 (1) 金銭の管理と購入 (2) 消費者の権利と責任
第三学年	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活 (2) 幼児の生活と家族 (3) 家族・家庭や地域との関わり		

授業の約束事

<p>☆ 持ち物 ☆</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書（技術・家庭 家庭分野）・ワーク・A4ノート <p>※ 教科書は3年間使用します。</p>	<p>☆ その他 ☆</p> <ul style="list-style-type: none">・実習（調理・被服）の授業はジャージ（上下）で受ける。・いつもの持ち物以外に、裁縫道具や調理実習の身支度など、必要な時にはその都度連絡します。・1週間に2時間（3年生は2週間に1時間）しかない授業です。集中してしっかり話を聞き、意欲的に取り組みましょう。
--	--

評価の観点・方法

技術・家庭科は、「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」の3つの観点をそれぞれA B Cの三段階で評価をします。

① 知識・技能

【評価方法】テスト（ペーパーテスト・実技テスト）、製作品（製作過程・完成）の様子
発言やレポートの内容などを材料に評価します。

基礎的な知識が理解され、それを使った基礎的な技術が身についているかを評価します。

② 思考・判断・表現

【評価方法】学習ノートや発言、レポート（ワークシート、技家ルーム等）の内容、作業計画表や記録カードの内容、テスト（ペーパーテスト・実技テスト）などを材料に評価します。生活の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、解決できる力について評価します。

③ 主体的に取り組む態度

【評価方法】授業の取り組みの様子、学習ノートや振り返りカード、作業記録カードの内容
レポート（ワークシート・技家クラスルーム等）の内容などを材料に多面的に評価
します。自分なりの考え方で解決策を考えたり、その実践を振り返り、より良いものになるよう改善・修正しようとしたりする態度について評価します。

以上の3つの観点を総合し、5段階で評定します。

☆ 各学年での授業・テスト ☆

◎ 1、2年生

技術・家庭科の授業は、前期・後期の2期制です。週1回2時間続きで行います。前期の定期テストは2学期中間、後期のテストは学年末に行います。（配点は100点満点）通知表の評定は、前期は2学期末、後期は3学期末に行います。学年末の評定は技術分野と家庭分野を合わせて、5段階で評定します。観点についても同様です。

◎ 3年生

技術分野と家庭分野を1週間おきに（隔週で）交互に行います。

（年間17.5時間ずつしかありません）

定期テストは各学期末に行います。配点は技術分野50点、家庭分野50点です。通知表の評定は技術分野と家庭分野を合わせて、5段階で評定します。観点についても同様です。

第3学年【英語科】 シラバス

3学年の目標

英語学習を通して言語や文化への関心を高め、自ら学ぶ学習態度をつける。聞くこと、話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うと同時に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成と異文化を理解する広い視野を身につける。

まとまった英語の文章を用いて身近で簡単なことについて話したり書いたり、聞いたり読んだりして内容を理解するなど、英語に慣れ親しみ、興味・関心を育て生涯学習へと発展させる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- (1) 知識・技能
- (2) 思考・判断・表現
- (3) 主体的に学習に取り組む態度

【評価の方法】

- (1) 言語活動への態度・意欲
(観察・自己評価)
- (2) 定期テスト・小テスト・パフォーマンステスト等の結果
- (3) 授業中の発言・コミュニケーションへの積極性
- (4) 言語活動中の発話内容(観察法)
- (5) ノートなどの提出物の内容、忘れ物、授業態度

特色ある学習方法

- (1) さまざまな活動を通し、英語学習への興味付けをする。(英語の歌・スピーチコンテスト・スペリングコンテスト、インタビュー活動)
- (2) 基礎・基本の定着を目指し、チャイム着席・忘れ物点検を毎時間行う。聞いた、話したりする力を伸ばす。
- (3) 積極的なコミュニケーション能力を高めるために振り返りシートやポイントカードを用い、ビンゴや暗唱、スキット作成などに力を入れる。
- (4) 家庭学習プリント(単語・文型練習など)を用い、家庭学習の定着をはかる。

	学習すること	学習のねらい
4	オリエンテーション Classroom English 辞書を使いこなそう PROGRAM 1 Bentos Are Interesting!	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の目標の確認。 ・教室で使われる英語を随時追加し、積極的に英語で話せるようになる。 ・辞書を効率的に利用できるようにする。 ・〈It is ... (for + 人) to ~〉を用いて、誰かが何かをすることについて「難しい」などと言えるようになる。 ・誰かに何かを頼むときの言い方ができるようになる。
5	PROGRAM 2 Good night. Sleep Tight.	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問の文を用いて、正しい語順で質問する文を書けるようになる。 ・主語+動詞+人など+that~の用法を理解し、運用できるようになる。
6	PROGRAM 3 A Hot Sport Today	<ul style="list-style-type: none"> ・〈主語+動詞+目的語+補語(名詞/形容詞)〉の用法を正しく理解し、運用できるようになる。 ・主語+動詞+目的語+動詞の原形の用法を正しく理解し、運用できるようになる。
7	Reading Faithful Elephants	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。 ・読んだことについて、要点を整理して書く。 ・読んだことについて感想を書く。
9	PROGRAM 4 Sign language, Not Just Gestures!	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の後置修飾の用法を理解し、今何かをしている人やものを詳しく説明できるようになる。 ・何かされているものを詳しく説明できるようになる。
10	PROGRAM 5 The Story of Chocolate	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞(主格)を用いて、人やものについて詳しく説明することができる。 ・関係代名詞(主格)を用いて、人やものについて詳しく別の言い方で説明することができる。
11	PROGRAM 6 The Great Pacific Garbage Patch	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞(目的格)を用いて、人やものについて詳しく説明することができる。 ・関係代名詞(目的格)を用いて、人やものについて詳しく、より短く説明することができる。
12	PROGRAM 7 Is AI a Friend or an Enemy?	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去/ I wish + 主語+仮定法過去の用法を正しく用いて運用できるようになる。
1	Reading Malala's Voice for the future	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。 ・読んだことについて感想を書く。 ・多くの偉人についての情報を積極的に得る。
2	Speaking 中学校の思い出を残そう	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。 ・読んだことについて感想を書く。